

## ◆ 立川都税事務所長賞 ◆

『税金』水族館

昭島市立昭和中学校 3年 長谷川 実歩

私はよく友達や家族と水族館へ行きます。東京のビルが多く建つ23区にもいくつかの水族館があります。よく知られている、サンシャイン水族館、すみだ水族館、葛西臨海水族園などです。これらに行ってみると、外見では感じられない違いがあります。

水族館には、民営と公営があります。民営では民間会社が設置から運営まで行います。公営では都道府県、市区町村がそれぞれまたは共同して資金を出して設置をします。公営にも県営や市営があり、文字通り都道府県が主体経営しているものと、市区町村が主体経営しているものがあります。市営には、教育委員会が所管しているものがあるのも特徴です。県営の例として、東京都の葛西臨海水族園や茨城県のアクアワールド大洗水族館が挙げられます。市営としては、山形県の加茂水族館や兵庫県の姫路水族館が挙げられます。

展示される海や水辺の生き物の種類も数も、水族館のそれぞれの見どころが工夫されているので外見では違いが感じられません。私は一番の違いは入館料だと思います。民営ではそれぞれの会社の資金を使うので、その会社には一定で運営を成り立たせるためのお金が必要なため、入館料が比較的高くなります。中学生でも千円以上かかることが多いですが、公営は大人でも千円以下のところがあります。葛西臨海水族園へ行ったとき、都内在学、在住の中学生は無料でした。こんな大サービスがあるのも、税金があるからです。税金によって支えられている公営は、入館料を高くしなくても運営が成り立ちます。よく、学校は税金で成り立っている。道路や警察も税金のおかげだと聞きます。ですが、今回のことで私たちの生活を「安全」にするためだけでなく「豊か」にすることや「楽しみ」をつくるためにも税金があるのだと分かりました。しかもこれは水族館に限ったことではなく、動物園でも言えることです。東京都恩賜上野動物園や神奈川県野毛山動物園がその例です。税金のおかげで規模も大きく、気軽に何回でも行けて、楽しい場所がたくさんあります。税金は生活する上で、欠かすことなく支払っているけど、私たちの生活にも良い形で返ってくるとわかりました。税金を支払うことで楽しみが得られるという思いを持って、税金を払っていきたいです。そしてこれからも水族館や動物園を楽しんで、税金のありがたさをもっていきたいです。